

～「物流 2024 年問題」への取組みが評価～

令和 5 年度「ベストプラクティス企業」を受賞しました！

株式会社マルイチ産商（本社：長野市、代表取締役社長：柏木 康全）と子会社マルイチ・ロジスティクス・サービス株式会社（本社：長野市、代表取締役社長：宮島 雄二）及び取引先で運送業者の中央運輸株式会社様（本社：長野市、代表取締役社長：青木 智子様）は、物流 2024 年問題の解消に向け、物流事業の安定化と改善の推進に 3 社で一体となって取り組んだことが評価され、厚生労働省 長野労働局より令和 5 年度「ベストプラクティス企業」に選定されました。

11 月 14 日、厚生労働省 長野労働局長 久富 康生様と、国土交通省 長野運輸支局長 山岸 忠政様が来訪され、長野労働局長より選定証が授与されました。



（右から長野労働局長 久富 康生様、弊社柏木社長、中央運輸青木社長、マルイチ・ロジスティクス・サービス 宮島社長、長野運輸支局長 山岸 忠政様）



物流 2024 年問題はサプライチェーン全体に関わる問題であり、1 社単独では改善も限定的ですが、3 社が連携し、一つひとつの小さな改善への取り組みを地道に積み重ね、全体最適を図ることで、大きな成果をもたらしております。

改善・取り組み事例 ①納品先専用マテハン活用

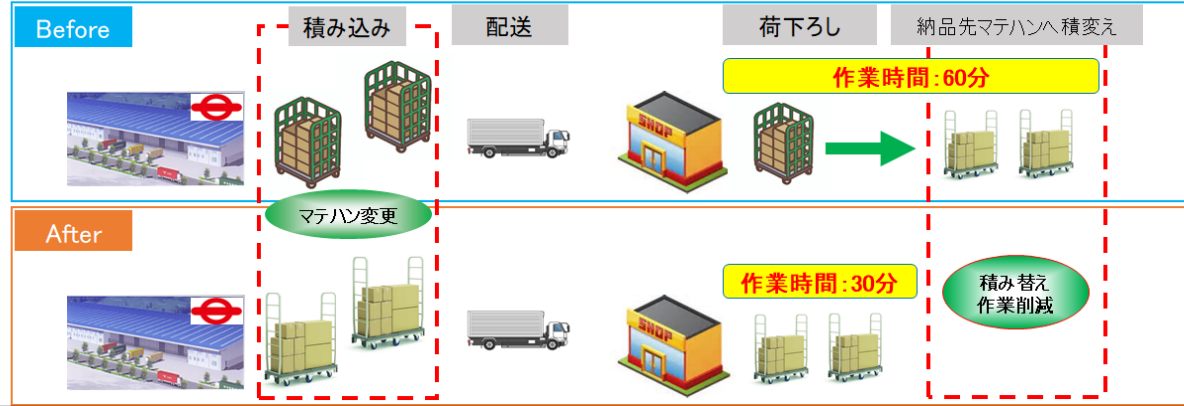
<取り組み内容>

得意先店舗様への納品時に使用するマテハンを納品先様仕様に出荷時から統一し、納品時の積み替え作業を廃止。

| | |
|-------|--|
| マルチ | 得意先様と物流面でも取り組み強化(物流機能維持・強化) 店舗納品滞在時間短縮/店舗様後工程との連携 |
| M L S | 荷主からの要件と物流業務カイゼンにつながる業務設計と運用管理 |
| 中央運輸 | MLSと設計した運用要件に基づく実装とそのフィードバック(更なるカイゼンへ) |

<定量面の効果>

ドライバーの納品先滞在時間短縮
1日:20時間短縮 1店舗▲30分/日×40店
年間:≒7,000時間の短縮



改善・取り組み事例 ②パレット等マテハンの活用

<取り組み内容>

商品パレット積み替え作業を低減。

トラックへの積み込み、入荷検収時の業務工数低減とセンター内格納業務の低減(ドライグロッサリーセンターから運用)。

| | |
|-------|--|
| マルチ | 社内内部統制に基づく物流業務要件と運用徹底と継続 ・メーカーとの取り組み提案 ・パレットサイズに合わせた商品発注管理 |
| M L S | 荷主からの要件と物流業務カイゼンにつながる業務設計と運用管理 |
| 中央運輸 | MLSと設計した運用要件に基づく実装とそのフィードバック(更なるカイゼンへ) |

<定量面の効果>

ドライバーの入荷付帯作業削減
荷台から降ろす業務 約2時間/日の短縮



弊社グループでは、以前より物流業者様や得意先様、仕入先様とサプライチェーン全体での物流改善に向けた様々な取組みを推進しております。これまでの地道な改善活動が今回のベストプラクティス企業選定に繋がったものと認識しており、日頃からご支援賜っております各企業様に感謝申し上げます。



今後も持続可能な物流の実現に向け、より大きな輪で、価値ある流通機能を創造しながら、取組みを進めてまいります。

以上